

# 新年のご挨拶



## 二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊  
令和6年1月20日発行  
(第123号)

二松学舎大学父母会  
(本部・事務局)  
東京都千代田区三番町6番地16  
二松学舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広常吉先生書

### 新春を迎えて



父母会長  
小平 修



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかな年明けをお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より父母会の活動に対し、ご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

今年の干支は「甲辰」で、これまでの努力が実を結び、形となって整えられる年と言われています。この縁起の良い年の初めにあたり、父母会で大切にしていきたいことを「今年の抱負」として三つ紹介させていただきます。

一つ目は「学生支援の充実」です。子供達が、二松学舎大学で学び、体験し、努力を続けてきたことが実を結ぶよう、父母会としても全力で応援してまいります。学生生活を送るなかでは、壁に

ぶつかったり、思い通りの結果とならないこともあるかと思えます。父母会が大学と学生のパイプ役となり、一人ひとりが自分なりの形で努力し続けることができるような支援を心掛けていきたいです。

二つ目は「父母会活動の活性化」です。昨年は、コロナ禍での活動自粛が緩和されるなか、父母会行事の実施について試行錯誤した一年でした。地区別懇談会の開催や創縁祭での無料喫茶室の開催など積極的に取り組みました。本年三月には、令和元年度以降中止となっていた卒業記念パーティーを開催する予定で準備を進めています。行事を縮小せざるを得なかった期間も、父母会が一丸となり、気持ちを切らすことなく活動を続けてきたことが現在に繋がっていると感じています。

三つ目は「保護者自身の成長」です。父母会では、保護者同士の交流も大きな目的です。保護者として、うれしく思ったり、悩んだりしていることを相談しあえる父母会とすることで、お互いを高め合える関係を作っていけたらと思います。子育て等を通じ、保護者自身が成長してきたこと、そして、それが実を結びつつあることを感じられる父母会でありたいと思います。

今期の父母会活動も振り返り点を過ぎ、後半となりました。本年も、役員一同協力し合い、より良い運営となるよう取り組んでまいります。引き続き、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。父母会役員の皆様、またご父母の皆様におかれましては、日頃より本学の教育研究活動にご支援賜り、感謝申し上げます。

さて、長引くコロナ禍は私たちの生活や価値観に大きな変化をもたらし、気候変動問題や経済のデジタル化、脱炭素社会の推進、ロシアによるウクライナ侵攻、中東における紛争など、本年は大変革の中で年明けを迎えました。学校法人経営環境面では、十八歳人口の予想を上回る急減、生成AI等テクノロジーの急速な発展を背景に理工系優先の各種行政施策の推進がみられます。

こうした中、今年創立一四七年目を迎える二松学舎では、長期ビジョン「N2030 Plan」も実施期間の前半を終え、残り半分の第一歩を踏み出す重要な局面に差し掛かっております。これまでの間、関係者の皆様のご尽力・ご貢献もあり、統括目標であるブランド力アップのためのさまざまな取り組みは順調に進捗し、二松学舎大学は着実にステップアップしてまいりました。私立大学を取り巻く環境が大きく変化する中でも、本学の使命は、教育・研究の質を高める努力を不断に行いながら、教育機関としての研究機関としてのレベルを維持し高めていくことにあると言えます。

これからの二松学舎大学の課題は、人文社会科学系大学として、その学

問の存在意義を改めて社会へ問いかけ、重要性を示し続けながら、数ある私立大学においても独自の個性を放つ唯一無二の存在へと更に価値を高めることでもあります。

申すまでもなく人文社会科学系学問は、人間の歴史や文化、社会の在り方などを探究し研究する学問です。人文科学は、人間とその人間性、そして人間が生み出した文明や思想などを追究するものです。社会科学は、



# 年頭所感

## 大変革の中での

### これからの課題

学校法人二松学舎

理事長

水戸英則

人間が主役として存在する社会における組織や行動を読み解きます。現代社会において、私たちが直面するあらゆる課題の解決には、理工農・医療系学問の知見は不可欠であり、それが、それらを理解し、適切に活用するためには、人間を理解するための人文社会科学系学問の知見が欠かせないのです。

例えば、新型コロナウイルス感染症などのパンデミックには、医学や理

工学の観点からの対応や対策が不可欠ですが、こうした対策等を社会に根付かせるためには、背景にある人間の行動や社会構造を理解することが重要で、心理学や社会行動学のよ

うな人文社会科学系学問の知見が必要になるでしょう。また、気候変動問題の解決には、自然科学分野における科学的知見が不可欠ですが、社会への影響や対策を評価するために、そうした現象の起因となった人間

の営み、活動などを人文社会科学系学問の知見から分析することが重要であることは言うまでもありません。このように、人文社会科学系学問は、理工農・医療系学問だけでは明らかにならない問題への解決策や示唆を与える学問であり、両者は不可分の関係にあると言えます。

データサイエンス科目を含む新カリキュラムの導入等文理融合教育の試み、②人文社会科学系の研究拠点の更なる充実・整備、③研究者による講演会やシンポジウムの開催、④人文社会科学系と理工農系の融合学部新設の議論の開始等の施策を推進していく方針です。そのほか、従来からの課題である教育の質保証、教学マネジメント面のDX化、留学ネットワークの充実強化、奨学金制度の充実等もあわせて進めてまいります。

また、両附属高等学校・中学校の教育改革については、『論語』に基づく人格教育を基本に①文系・理系のコース別選択制の見直し(高等学校)、②アクティブラーニングを通じた教育体制の充実、③グローバル化・ICT化の推進等の施策を進めていく方針です。そして法人としては、今後も安定した財務基盤の維持や教職員の資質向上のための人材育成体制整備などの課題に取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、本年も厳しい環境の中、大学、両附属高等学校・中学校を更にレベルアップし、いつも選ばれる大学、高等学校、中学校としてのゆるぎない地位を目指して、皆様とともに、確実に着実に歩んでいきたいと考えております。引き続き皆様のお力添えを切にお願いして、新年のご挨拶といたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうござい  
ます。父母会の皆様におかれまして  
は、健やかな新春をお迎えのことと  
存じます。本年も本学の教育・研究  
活動へのご理解とご協力を賜りた  
く、どうぞよろしくお願いいたしま  
す。

さて、昨年五月に新型コロナウイ  
ルス感染防止のための行動制限も解  
かれ、大学も従来の研究・教育活動  
に戻りました。学生のみなさんも対  
面での授業を受け、図書館で多くの  
書籍や電子データに触れて研究を進  
めています。また、部・サークル活  
動に励まれ、人と人が触れ合う中で  
充実した学生生活を過ごされている  
と思います。本学学園祭である「創  
縁祭」も、昨春秋は学外からの参加  
者も迎えることとし、新しい出会い  
や日頃の活動の発表に、学外からの  
反応を得たりした学生も多かったこ  
とも思います。われわれ教員の学会  
活動も、オンラインから対面に移行  
するなど、従来の研究環境が戻って  
きました。

とはいうものの、コロナ禍でのオ  
ンライン教育にも利点はありまし  
た。大教室での講義では、どうして  
も教員から学生への一方通行になり  
がちですが、オンライン授業では教  
員と学生が対一で授業を行っている  
ような錯覚から、チャットを使っ  
た双方向コミュニケーションが活発  
だったように思います。現在の対面

授業においても、教員はオンライン  
教育で培ったノウハウを活用してい  
ますが、全学生に貸与されたパソコ  
ンを活用・連携し、授業やゼミナ  
ールで、より効果的な講義展開を図れ  
るよう検討を重ねてまいります。

新年を迎え、新たな目標を定める  
学生も多いと思います。多くの学生  
にとり、まもなく社会人となる大学  
生活は、小学校から続く学校教育の  
最後のステップとなります。教員で



## 年頭所感

### 新たな目標への一年に

学長代理 高岸直樹

あれ、公務員であれ、民間企業への  
就職であれ、社会人として求められ  
ているスキルのひとつに、他者と協  
働して成果を挙げることが求められ  
ます。他者と協働して成果を挙げて  
いくためには、相手の立場や主張の  
筋立てを理解し組み立てるコミュニ  
ケーション力、プレゼンテーション  
能力が必要となります。授業やゼミ  
ナールでも、理解力、思考力の向上  
をはじめ、他者と協働して成果を挙

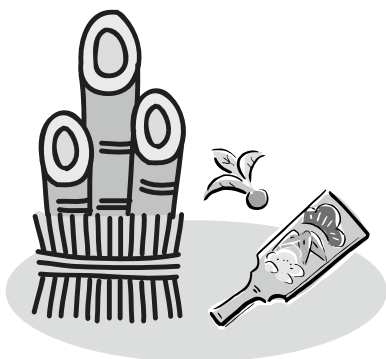
げていく力を高めることを目指して  
指導しています。しかし、こうした  
能力は、部・サークル、アルバイ  
ト、ボランティア、地域社会での活  
動など、さまざまな経験からも培わ  
れるものです。コロナ禍では、これ  
らの活動が制限され、空白期間が生  
じました。ただ、自然災害やパンデ  
ミックは今後の人生において繰り返  
し私たちの生活を脅かしてくること  
でしょう。これからのことを考えれ

ば、単に空白期間を埋める活動を行  
うだけではなく、困難に直面しオン  
ラインを活用して教員により深く質  
問・意見を述べ、勉学に勤しんだこ  
とや友達とオンラインの輪を拡げた  
こと、家族との関りを見つめ直した  
ことなど、これまでの経験や対応を  
振り返り、自分は如何に困難を乗り  
越えたか自省し明日に生かしていく  
ことが期待されます。

本学でも、新たな学長選出の手續

きが開始され、まもなく新執行部が  
誕生します。これまでの大学運営を  
振り返り、問題点や課題を自省する  
とともに、より良い大学を実現する  
ために改善策を一つ一つ検討し、実  
践していきたいと考えています。伝  
統ある二松学舎は、過去を埋めるだ  
けではなく、これからも新しい視点  
からの大学運営や研究に挑戦し、有  
用なる人材の育成を通じて社会に貢  
献する教育活動を着実に進めてまい  
ります。

年頭にあたり、新たな気持ちを持  
つとともに、父母会の皆様のご多幸  
を祈念いたします。



# 2023 創縁祭報告

## 創縁祭2023 模擬店復活!

学園祭実行委員会委員長  
文学部国文学科二年竹石翔馬

十一月二日(木)・三日(金・祝)の二日間にわたり、創縁祭二〇二三を開催いたしました。今年は大規模ではありませんでしたが、四年ぶりに模擬店を復活することができました。期間中、どの団体も活発に活動しており、ご来場いただいた皆様に満足していただけた創縁祭であったのではないかと思います。創縁祭を無事に開催でき、学園祭実行委員会一同大変嬉しく思っております。

ご来場いただきました皆様より、二松学舎らしい一面が見られて楽しかった・模擬店が復活して嬉しかった等の心温まるお言葉をいただきました。これも、創縁祭に参加してくださった各団体の皆様やお力添えをしていただきました、父母会・松苓会・学生支援課・教職員の皆様並びに創縁祭に関わってくださった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

私事ではございますが、今回初めて学園祭実行委員会の委員長を務めさせていただきました。不慣れな部分が多々あり、ご迷惑をおかけしたこと、この場を借りてお詫び申し上げますとともに、来年度の創縁祭もより一層楽しんでいただけますよう、学園祭実行委員会一同努めて参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。





あけましておめでとうござい  
ます。

先日二人の小さな子どもたち  
を見かけて、言葉にしてしまうこ  
との影響に思いを馳せる機会が  
ありました。

先に建物の中に入ったその子  
は、後からお友だちが入ろうとし  
ているのを見ながら門を閉めま  
した。そして門の隙

間からお友だちを覗  
いて楽しそうにニコ  
ニコしました。お友  
だちも中にいる子  
を見て面白そうに笑っ  
ていました。大人な  
ら後に続くお友だち  
のために門を開けて  
おくのが親切だろう  
という場面です。も  
し自分がその子の母  
親だったら「意地悪  
しないの、開けてお  
いてあげなさい」な  
どと口を挟んだかもしれな  
いと思いましたが、けれどそ  
こに居たお母さんは何も言  
いませんでした。もしか  
すると、我が子に注意する  
という対応が、良識ある大人  
然としたやり方かもしれませ  
ん。しかし二人の表情はと  
ても楽しそうに、逆に門を  
閉める行動を「意地悪」と表  
現してしまつたら二人

学生相談室  
だより 123  
カウンセラー 森岡さやか

の遊びは台無しになってしまつ  
たでしょう。意地悪をする子と意  
地悪をされる子という関係性を  
勝手に規定してしまうおそれも  
ありました。

言葉は良くも悪くも現象の意  
味を限定し明確化する役割を持  
ちます。その行動をどう表現す  
るか、その出来事をどう語るか  
によって、同じ現象がも

つ意味が変わり、人  
の記憶にどう残るか  
も変わり、自分がど  
んな人なのかという  
認識も変わるでしょ  
う。

私たちは日々たく  
さんの言葉を使つて  
暮らしていますが、  
自分が発した言葉の  
影響についてどれほ  
ど想像できているで  
しょうか。ときに言  
葉を使うのが恐ろし

くなる場合がありますが、カウ  
ンセリングの場で言葉の役割は  
一層重大です。自分の表現の一  
つがどう相手に届きどう残る  
か、精一杯考えて相談にいら  
っしゃる方々とお会いしたいと  
思います。

●売手市場

有効求人倍率が一・〇を上回れば  
売手市場、下回れば買手市場と言  
われています。前々号で二〇二四卒の  
有効求人倍率が一・七一倍となつて  
いることをお伝えしました。バブル  
期でも一・四倍でしたから、今は  
かなりの売手市場と言えます。か  
つて一九九三年から二〇〇五年ま  
での期間を就職氷河期と呼んで  
いました。

アー  
リタ  
キャン  
キセ  
だ 73

するから最初はどこでも」と安  
易な考へに至ることが挙げられ  
ます。先に挙げた就職活動の様  
々な準備や研究は長期に渡り、  
非常に困難なものです。なる  
べく早く簡単に済ませたい、と  
思うのでしょうか。また、TV  
や動画サイト、SNS等では、  
転職サイトのCMが頻りに流  
れ、簡単に転職できる、或  
いは転職するのが当たりまえ、  
と錯覚してしまっています。し  
かし、所謂「ファースト・キ  
ャリア」を蔑ろにすれば、その  
後のキャリア形成に大きな影  
響が出ます。いい加減に決  
めた仕事に、精一杯取り組む  
ことはかなり困難だと思いま  
す。その結果、その仕事から  
本来学び取れる、或いは成長  
できる「何か」を得ることが  
出来ないうちになります。その  
状態では仮に転職の機会が訪  
れたとしても、前職で得た「何  
か」を自分自身の言葉で語る  
ことが出来ないため、その  
転職は失敗する可能性が高ま  
ります。

める特別支援制度を設けるなど  
対応しました。そうした時代と  
比べると、現在の四年次生・三  
年次生は、かなり恵まれている  
と思われれます。多くの学生は、  
こうした好条件に活かされるこ  
となく、自己分析・理解を深  
め、企業・業界研究を進めて  
慎重に就職活動を行っている  
印象ですが、勘違いをしている  
学生も一定数おられます。大  
きな勘違いの一つに「どうせ  
転職

どのような時代、どのような  
社会状況で合つても、しつかり  
と自分自身を見つめ、困難であ  
つても着実に準備して進めて  
いくことが肝要です。売手市  
場であることに安心せず、  
慢心することなく就職活動に  
取り組んで欲しいのです。

## 学生支援課から

### ◆2023年度学位記授与式のご案内

2023年度学位記授与式については、下記のとおり挙行いたします。

**日時：2024年3月20日（水・祝）10：40 卒業生集合 11：00 開式～12：00頃 終了予定**

※式典終了後、会場内にて学位記授与を実施し、全体で13：00頃までに終了・順次解散の予定です。

**会場：文京シビックホール（大ホール）**

東京都文京区春日1-16-21

〈交通アクセス〉後樂園駅（東京メトロ）直結

春日駅（都営地下鉄）直結

水道橋駅（JR）徒歩10分

※ご家族の方のご参加は卒業・修了生1名につき1名までとさせていただきます。

なお、式典の様子はオンライン配信する予定です。

※今年度は父母会主催の卒業記念パーティーを開催する予定です。

※今後、新型コロナウイルス感染症の急拡大などやむを得ない事態が生じた場合は、実施方法を変更する場合がございます。

その場合、ライブキャンパス保護者ポータル等で周知いたします。

### 大学の講義を受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様にも公開しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目（一〜数科目）を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。本学学生のご父母の皆様は、生涯教育の一環として一人でも多く大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額措置を講じております。この機会に、是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられることをお勧め致します。

内容は、次のとおりです。

### 卒業記念パーティーの開催について

父母会では、卒業生の皆様のご卒業を祝し、また、在学中お世話になった教職員の皆様への感謝の気持ちを込めて、卒業記念パーティーを開催しています。卒業生の皆様は是非ご出席願います。卒業記念パーティーの内容は次のとおりです。

**【日時】**  
二〇二四年三月二十日（水・祝）  
午後三時～五時  
（受付 午後二時三十分～）

**【会場】**  
帝国ホテル  
本館二階「孔雀東の間」  
〒一〇〇―八五五八  
東京都千代田区内幸町一―一―  
学位記授与式会場の文京シビックホールの最寄り駅「春日」駅から帝国ホテル最寄り駅「日比谷」駅ま

で電車（都営三田線）で約十分程度（乗り換え不要）

**【次第（予定）】**

- 一、開会
- 二、挨拶
- 三、乾杯
- 四、歓談・ゼミ写真撮影
- 五、閉会

○御父母など保証人の方や卒業生以外の学生は、参加できません。

○歓談の時間を利用してゼミ毎の集合写真撮影時間を設けています。時間に制約がありますので、あらかじめ撮影順番を決めておきます。ご協力ください。

○卒業生の皆様には、「リボン」を必ず着用していただきます。「リボン」は卒業式当日に配布します。

#### ■公開科目

学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く授業科目を公開いたします。

#### ■募集要項

二〇二四年度の募集についてのお問い合わせは、二月になりましてからお願います。

#### ■科目等履修料

一科目 通年科目 三万円  
半期科目 一万五千元

#### ■問合せ先

二松学舎大学教務課  
〇三（三二六）七四〇六

## 渋沢栄一 壹万円札タオルのご紹介

二松学舎で第三代舎長を務めた渋沢栄一の壹万円札タオルです。今治産で肌触りの良いタオルは使い勝手抜群！ 新紙幣発行前の話題作りにも、ぜひいかがでしょうか。

同じ素材で夏目漱石の千円札タオルも販売しています。詳しくはオンラインショップをご覧ください。

(サイズ：35cm×80cm 素材：綿100%)

●販売価格：1,000円(税込)

●販売方法：二松学舎サービス株式会社(九段3号館10階)  
オンラインショップ [https://nishogakusha.shop-pro.jp/]  
※オンラインショップをご利用の場合、別途送料をいただきます

●お問合せ先：二松学舎サービス株式会社  
TEL：03-3261-6921 MAIL：info@nishogakusha-s.co.jp



## 卒業アルバム個人写真の提出のお願い

卒業アルバムは父母会より全卒業生に贈呈します。卒業アルバム用の個人写真撮影は昨年11月から12月に大学で行ってありますが、撮影が出来なかった方は、2月上旬の卒論(卒研)面接試問の時期にも予定しております。

2月上旬の撮影も参加が難しい場合、データもしくは郵送での提出を受け付けます。下記の要領に従って、ご提出ください。再度、ご家庭でも学生本人にご確認ください。

### ○個人写真をデータ提出する場合の注意点

- スマホやデジカメなど撮影に使用する機種での「最大データ(撮影)サイズ」で撮影/保存してください(データ形式は必ずjpgにて)。  
※iPhoneで撮影する場合は、設定アプリで「カメラ」→「フォーマット」→「互換性優先」を選択してください。
- スナップ写真や集合写真などからの抜粋加工は承ることができませんのでご注意ください。
- 背景は無地の明るい部屋で。「証明写真」のような仕上がりをイメージに、必ず頭上に隙間をあげ、上半身は両肩、胸部辺りまで入れてください。
- お送り頂く画像データサイズはメール添付の共用範囲内で大きめで(目安データサイズ 1~3メガバイト程度)。  
※ただしこれより大きすぎるとメール送受信できませんのでご注意ください。
- 写真データは全体のバランスの中で補正していきますので、提出時は無加工のデータにてお願いします。
- メールの件名は、「卒アル個人写真」を頭に付けて、学生番号・氏名を必ず記載してください。  
例：「卒アル個人写真220A0000二松花子」  
データ提出先：sotsuaru@nishogakusha-u.ac.jp

### ○証明写真を郵送で提出する場合

- 写真サイズ タテ5センチ×ヨコ4センチ  
(右記の例を参考にしてください)  
※写真の裏面に必ず学生番号・氏名を記入してください。  
郵送先：102-0074 東京都千代田区九段南2-4-14  
二松学舎大学 4号館1階事務室 卒業アルバム係  
提出締切日：2024年2月29日(木) 必着(データ・郵送共通)

- ご提出いただけない場合は、学生氏名のみ掲載となりますことをご了承ください。
- 卒業アルバムは、保証人(実家)宛に送付します。
- 卒業後、保証人住所を変更する予定がある場合には必ず学生支援課へ報告してください。



顔の上に空き+左右は両肩が入りできればベスト。さらに下は胸まで写ったもの

## 編集後記

新年あけましておめでとうござい  
ます。

今から三年前の二〇二〇年一月、  
全世界に広まった新型コロナウイルス。  
日本でも多くの方が感染し、私  
たちの子供たちの青春時代の一ペー  
ジではマスクと行動制限が付き物で  
した。

二〇二四年一月、新型コロナウイルスの  
猛威も忘れるくらいに私たちの  
生活は通常の日常に戻ってきてい  
ます。

さて、その様な中で昨年の秋は暑  
い日が続き地球温暖化の加速もささ  
やかれる中、十一月に開催した創縁  
祭も晴天の中での開催となり、学生  
ばかりではなく多くの保護者のご参  
加もあり、三年ぶりの国際交流会も  
大いに盛り上がりました。

二〇二三年度もあと二か月、四月  
の春には新たな学年や門出となる子  
供たちも未来に向けてSDGsを無視  
できない社会、平和で豊かな社会に  
向けて自らどう関わっていきけるかな  
ど、より良い人間生活の創造も考え  
てこれからの未来を切り開いて貰え  
たらと願う今日この頃です。私個人  
としても父母会を通して二〇二四年  
度もより良い学生生活の支援のため  
に奮起していきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いた  
します。